

平成29年度
四倉中学校

学校だより

2月26日(月) 第38号

文責 校長 中根 猛

県立高校Ⅱ期選拔出願完了そして卒業式に向けて

県立高校Ⅱ期選抜の出願を2月15日(木)に行いました。全員の合格を祈願して大安の日を選びました。市内外14の高等学校に52名が出願しました。出願は、19日(月)正午で締め切られました。その後、20日(火)から22日(木)正午までの期間で出願先の変更が行われました。市内の県立高校の最終倍率は、1.06倍です。最も高いのが、平工業高校の情報工学科で1.80倍です。3月8日(木)の入試日まで、10日余りになりました。入試に向けて心を落ち着けて学習のまとめをする時になってきました。「学力は、テスト前日まで伸びる」を信じて学習に励んで下さい。今まで学習してきた問題集や参考書を使って丁寧に復習をして知識を確かなものにして下さい。また、インフルエンザの流行期でもあります。体調管理に努めてベストな状態で受験に臨めるようにお願いします。万が一、インフルエンザに罹患した場合でも、別室での受験ができますので、その場合は、担任の先生へ御連絡下さい。どんなことがあってもあきらめない、合格を勝ち取るという強い気持ちで臨んで下さい。

ところで、朝日新聞の鷺田清一氏のコラム「折々のことば」に数学者の森毅^{つよし}さんの言葉を引用した次のような記事が掲載されていました。

問題が難しければ、シメタこれは他の連中にできないぞと考え、問題が易しければ、シメタこれはオレにできるぞと思うことだ。

森毅

一度の試験で「実力」など出し切れない。受験には要領と度胸が大事だし、運もついて回ると数学者は言う。だからつねに楽観的であれと。そういえばどこかでこうも書いていた。答えはラブレターを書くように書け。実際、消しゴムで消した跡をすかして受験者の思考の道筋を探ろうとする採点者もいると。『ものぐさ数学のすすめ』から。 2018.2.12

難問を前にして気落ちせず、易しい問題には、自信を持って取り組ませたいと思います。心を落ち着けて普段の実力が発揮できることを願います。問題の向こう側にいる出題者を意識して答案を書く。問題を作問した人たちも大変な苦勞して作ったはずです。その問いにどんな答案を書くか。ラブレターを書くように勉強してきた成果が伝わるように答案が書けたら最高ですね。

また、卒業式に向けて学年練習や全体練習が開始されました。最初の全体練習が2月20日(火)の5.6校時に行いました。卒業式に臨む心構えや服装、礼法の指導の後に式歌の練習を行いました。式歌は、三戸先生の指導の下、在校生が松田咲希さんの伴奏で「そのままの君で」を歌い、卒業生は佐藤光稀君の伴奏で「旅立ちの日に」を歌いました。全体で練習するのは、初めてでしたがさすがに3年生の歌声はのびやかで体育館に響き渡っていました。その歌声に触発されて1.2年生の歌声もより大きくなってきました。折り目正しい態度と素晴らしい歌声で厳粛な中にも真心がこもった思い出深い卒業式ができると確信しました。

来年度前期生徒会役員が選出されました

2月21日(火)の5.6校時に生徒会役員立会い演説会と選挙を行いました。会長、副会長、男子書記、2.3年庶務が信任投票で、女子書記が2名の立候補になり選挙により選出されることになりました。この日まで、朝の登校時間に校門に立って投票を呼びかけたり、昼の放送で公約を訴えたり選挙活動を行ってきました。

演説会の後、各教室に戻って投票用紙に記入をして各学年の廊下に設置された投票箱に投票しました。私語を慎み厳正な選挙が行われました。その結果、信任もしくは選出された役員の方を紹介いたします。四倉中学校のリーダーとして、いわき市生徒会長サミットのメンバーとして、皆さんの活躍に期待いたします。

- | | | |
|------|-------------|--------------|
| ○会長 | 飯島一輝君(2-4) | |
| ○副会長 | 田中 颯君(1-1) | 駒 真花さん(2-3) |
| ○書記 | 青木健悟君(1-1) | 鈴木つばささん(2-4) |
| ○庶務 | 飛田彩夢さん(1-2) | 根本日葵さん(2-2) |

